

# エコ農産物の申請面積拡大に向けた取組

～エコ栽培米PR、研修会開催と「栽培ごよみ」の作成～

泉州農と緑の総合事務所農の普及課

## 活動の背景

JA大阪泉州(以下、JA)管内のエコ栽培米(大阪エコ農産物栽培基準により栽培される米)の1月申請時面積は平成25年24.82ha平成26年25.2ha平成27年30.6haと増加傾向にある。農の普及課では、エコ栽培米を有望な品目の一つと考え、その更なる申請面積拡大に向けた取組を行った。

## 課題と目標

- ・エコ栽培米のPR
- ・エコ栽培米に新規で取り組む農業者の技術向上
- ・エコ栽培米の「栽培ごよみ」の作成・活用



▲エコ栽培米PRの様子

## 取組内容と結果

### (1) 販売拡大に向けた取組

JA農産物直売所では新米の出回る平成27年11月から初めてエコ栽培米の販売が開始された。その際、当課からの提案によりエコ農産物宣伝グッズを活用したPR活動を実施した。

### (2) 生産拡大に向けた取組

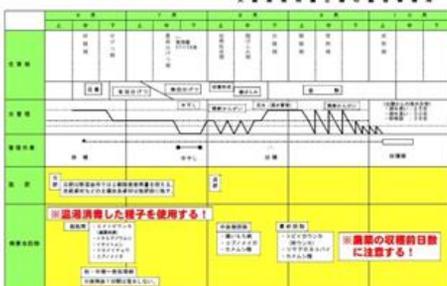
#### ① 研修会の開催

平成27年11月、当課とJAの共催によりエコ栽培米に新規で取り組む農業者向けの研修会を実施し、22名の参加を得た。当課からは大阪エコ農産物認証制度の概要、エコ栽培米の栽培管理技術等について、JAからは肥料の計算方法、施肥例・防除例についてそれぞれ説明した。

#### ② エコ栽培米の「栽培ごよみ」の作成・活用

更にエコ栽培米に新規で取り組む農業者の拡大に向けて、エコ栽培米の「栽培ごよみ」の作成を行った。品種は作付の多いヒノヒカリ、キヌヒカリの2品種を取り上げ、水管理や施肥、病害虫防除等の要点を説明するとともに、生産者が取り組みやすいよう、JAの協力を得て施肥や防除の具体例も掲載した。農舎の壁等に貼って見やすく活用してもらうように、A2のポスターサイズを採用、片面に1品種ずつ掲載する工夫もした。栽培ごよみはJAをはじめ、同JA管内の市町や農業関係組織、直売所等に配布するとともに、普及だよりで情報提供した。

水稲(大阪エコ農産物)栽培ごよみ(品種:ヒノヒカリ)



▲水稲(大阪エコ農産物)栽培ごよみ

## 成果

平成27年産エコ栽培米の品質は前年産並みであった。またエコ栽培米の平成28年1月申請面積は32.6haとなり、前年より2ha増加した。平成28年度も引き続き、エコ栽培米のPR、エコ栽培米に新規で取り組む農業者向けの研修会を実施した。

## 今後の普及活動

- 大阪エコ農産物認証制度が平成29年1月申請分から改正され、農薬・化学肥料「不使用」の認証区分もできた
- それを踏まえ、今後もエコ農産物の申請拡大に向けてJA・市町等の関係機関と連携し、生産・消費拡大に資する活動に取り組んでいく



【注】大阪エコ農産物  
農薬や化学肥料の使用を通常の半分以下に抑えて栽培された大阪府が認証する農産物。

## 【参考】

大阪エコ農産物生産計画申請状況  
大阪府全体で見ると、泉州地域のエコ農産物は申請件数で約30～40%、生産者数で約30～40%、面積(a)で約50～70%のシェアを占めている。

平成28年1月申請				平成28年7月申請					
地域合計		申請件数	生産者数	面積(a)	地域合計		申請件数	生産者数	面積(a)
泉州	今回	886 (35)	254 (40)	15,780.94 (48)	泉州	今回	559 (28)	174 (34)	14,163.74 (66)
	前年	837 (35)	252 (39)	15,145.16 (47)		前年	557 (29)	172 (34)	13,717.47 (67)
大阪府全体	今回	2,557 (100)	642 (100)	32,822.79 (100)	大阪府全体	今回	1,962 (100)	506 (100)	21,476.71 (100)
	前年	2,416 (100)	648 (100)	32,298.13 (100)		前年	1,934 (100)	500 (100)	20,484.73 (100)